

# 平成 30 年（2018 年）度 追手門学院小学校 学校経営計画及び学校評価

## 1 めざす学校像

<p>志高い「追手門教育」の継承</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 魅力ある追手門教育の推進 ー教育技術の継承・発展と、グローバル人材の育成ー</li> <li>(2) 伝統の継承に基づく心情育成への実践推進 ー追手門を誇りに思う愛校心の涵養ー</li> <li>(3) 『志の教育』と『心の教育』の実践推進 ーあらゆる場面での意欲伸長と内面深化の追求ー</li> </ul>
--

## 2 中期的目標

<p>(1) 魅力ある追手門教育の追求</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全クラスで ICT 機器を使った公開授業を実施。効果的な活用法研究の推進。</li> <li>・児童の主体性や意見発表を重視した「追小型アクティブラーニング」によるコミュニケーション力の育成を推進。</li> <li>・漢字統一テストや計算大会、用語チェックテストなどによる基礎力の徹底。</li> </ul> <p>(2) 『志教育』の実践</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・創立 130 周年記念式典など周年行事への参加による追手門児童としてのアイデンティティの強化。</li> <li>・iPad mini 用自校教育アプリ「アプリで学ぶ追手門学院小学校」の活用。</li> <li>・さまざまな仕事に関する出前授業の実施とキャリア教育の推進。</li> </ul> <p>(3) 『心の教育』の実践</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・道徳科研究授業の実施と道徳心育成カリキュラム研究の推進。</li> <li>・なかよし下校や清掃での縦割り活動での心情育成</li> <li>・「善行を讃えて」表彰の推進。</li> </ul> <p>(4) グローバル社会で求められる教育の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・英語カリキュラムの充実と TOEFL Primary の実施 OTEMON 講座における英検講座の実施。</li> <li>・BYOD で Surface 導入決定 ICT 活用委員会でのメディアラボ（東館）と普通教室 BIG PAD 活用の研究。</li> <li>・地球環境を意識するための全校を挙げて取り組み（省エネとエコ）。</li> </ul> <p>(5) 規律正しく安全な学校生活</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各学年の発達段階を踏まえた礼儀礼節の指導徹底と内面化の育成。</li> <li>・生活指導部や道徳科を中心に心情育成。</li> <li>・安全な学校生活と登下校の指導。</li> </ul> <p>(6) 積極的な児童募集</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・入試日程の早期化</li> <li>・インターネットサイトの活用を充実。</li> <li>・追手門学院幼稚園との連携強化による内部進学者増。</li> <li>・外部説明会への参加推進</li> </ul>
--

### 【保護者アンケートの結果と分析・学校関係者評価委員会からの意見】

保護者アンケートの結果と分析（平成 30 年 11 月実施）	学校関係者評価委員会からの意見
<p>*そう思う：3、どちらかといえばそう思う：1、どちらかといえばそう思わない：-1、そう思わない：-3、わからない：0の加重平均</p> <p>○本校への入学を親戚、友人・知人に勧めるという保護者が 74.6%と、前年度の 71.7%より 2.9%増加した。5年連続の伸び。</p> <p>○最も高いスコアを示したのは「教育目標を達成するために、学校行事を効果的に行っている」（2.48 ポイント）で、校舎建設中の手狭な環境においても子どもの成長と教育成果を感じていただけた。</p> <p>○25項目中 15項目が 2ポイント以上の高評価となっている。教育目標・国際的な感覚・愛校心・校外学習など、私学ならではの項目が多い。教える側の教職員が私学人としての意識を持って取り組んでいることが大きいと考えられる。</p> <p>○昨年度、満足度の低かった「中学進学指導・説明会（5・6年のみ回答）」（0.62 ポイント）は 1.26 ポイントに上昇した。内部進学者のみの説明会の実施や、4年生保護者に初めて進学説明会を実施したことなどが評価されたと考えられる。「総合学園長所」（0.20 ポイント）は 0.66 ポイントに上昇した。130周年記念式典でのチアダンスクラブの幼小中高合同演技や吹奏楽クラブの小中高大合同演奏、ロボットプログラミングでの中高連携、幼稚園での出前授業や幼小交流会など多くの実績が評価されたと考える。昨年度 1.46 ポイントであった「給食」も 2.08 ポイントと初めて2ポイントを超えた。メニューの充実や工夫などが評価されたと思う。</p>	<p style="text-align: center;">学校関係者評価委員会からの意見</p> <p>【第1回委員会が出された意見と回答】平成 30 年 5 月 31 日実施 ○校長先生の言われる「真の追手門」とは。 ⇒登下校での規律、授業での規律、身だしなみなど、追手門の子としてどうあるべきかを家庭の協力のもと見直していきたい。 ○先生・保護者・児童で「追手門ブランド」を共有することは大事 ⇒We are Otemon!を発行して、現保護者や児童に教育の意義や様子を知らせ、追手門ブランドを共有している。 ○募集の時に学校の方針を話して、賛同する人だけでよいのでは ⇒規律があるから学力も伸びる。当たり前のことを当たり前にしてもらうだけ。入学前、1年生から育てる。</p> <p>【第2回委員会が出された意見と回答】平成 30 年 11 月 1 日実施 ○ICT教育にもしっかり取り組んでおられる。興味がある。 ⇒個人持ちタブレットパソコンや各教室への電子黒板の導入を行う。双方向の授業の展開。メディアラボ（東館）の活用も。 ○親とも追手門ブランドを守っていきたい。追手門音頭や文化祭の手伝いも多くてうれしい。 ⇒PTAの活動が素晴らしい。一流の保護者であって欲しい。</p> <p>【第3回委員会が出された意見と回答】平成 31 年 2 月 21 日実施 ○英語教育に力を入れており、喜ばしい。 ⇒OTEMON 講座に英検講座を、3～6年生に TOEFL Primary を導入した。さらに力を入れていきたい。 ○総合学園として小学校をどう位置付けるか。 ⇒発祥校として伝統を伝えて、教育に深みを持たせたい。</p>

## 2 本校の取り組み内容および自己評価

中間的目標	今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指標	自己評価
1 魅力ある追手門教育の追求	<p>①追小型アクティブラーニング授業の研究の推進</p> <p>②コミュニケーション力の育成推進</p> <p>③基礎基本の徹底</p>	<p>①追小型アクティブラーニング授業とICT機器を使った授業研究。全ての担任・副担任が最低年1回の研究・研修を行う。特に強化教科として算数・国語・道徳の研究授業の実施。</p> <p>②児童の主体性、意見発表などを重視した追小型アクティブラーニング授業の研究を進め、発表力を中心とした表現力の育成を図る。</p> <p>③平常テストに漢字統一テストや計算大会、用語チェックテストなどを反復して実施することにより、基礎基本の徹底を図る。</p>	<p>①全教員によるアクティブラーニングの研究・研修授業の実施。</p> <p>②発表力の向上。発表場面を重視した授業の構築。</p> <p>③基本事項の定着や明確な課題を設定した場を設ける。</p>	<p>①全学級でICT機器を取り入れた公開授業を実施した。メディアラボ（東館）完成に備えて、ICT活用授業推進委員会を設置し、研究を重ねている。（メディアラボと普通教室の連動、電子黒板の活用など） カリキュラムマネジメントとして、教科横断型のテキスト「大阪城ノート」が完成した。</p> <p>②教科ごとに追小型アクティブラーニングによる授業を実施。日々の授業で、児童の意見交換や発表、ペア学習などを推進し、協働型の学習形態の研究を進めた。個々の児童への細やかな個別対応の充実が課題である。</p> <p>③全国学力学習状況調査（国語・算数・理科）でも、本校児童の優位性（平均点で10ポイント以上上位）が確認された。</p>
2 志の教育と心の教育の実践	<p>①自校教育の推進</p> <p>②キャリア教育の推進</p> <p>③道徳教育の推進</p>	<p>①創立130周年記念式典に向けた自校教育とイベント参加による帰属意識の醸成を図る。</p> <p>②外部機関を通じて、各界からのキャリア形成に資する出前授業を多く実施する。</p> <p>③道徳の教科化に伴う道徳授業の研究とカリキュラムの構築を図る。</p>	<p>①追手門児童としてのアイデンティティの強化。</p> <p>②児童の将来に繋がり、夢ややる気に繋がる授業の構築。</p> <p>③道徳研究授業の実施。なかよし下校や清掃での縦割り活動での心情育成。</p>	<p>①朝礼時の教育目標や建学の精神についての訓話や式典に向けての歌唱指導など、追手門児童としてのアイデンティティが強まった。また、創立記念日前に行う自校教育や3年社会授業での自校教育アプリの活用も効果があった。</p> <p>②行政や税の話、ロータリークラブから2つの業界の話聞き、社会や仕事に対する具体的なイメージを持つことができた。低学年でのキャリア教育推進が課題である。</p> <p>③道徳研修授業を1・2学期に、道徳研究授業を3学期に実施。主体的で対話的な展開になったか、授業のねらいとするとともにいかに迫ったか、授業構成を中心に深まった。カリキュラムの研究をさらに進める。</p>
3 グローバル社会で求められる教育の推進	<p>①英語教育</p> <p>②ICT教育</p> <p>③環境教育</p>	<p>①カリキュラムの充実とICTの活用。OTEMON講座での英検講座の実施。TOEFL Primaryの実施。</p> <p>②来年度のBYODでのSurfaceと各教室の電子黒板導入に向けての研究ICT活用授業推進委員会が中心となって実施。</p> <p>③児童会の環境委員会と教員のエコ委員会を中心に、省エネとエコを具体的目標として、全校を挙げて取り組む。</p>	<p>①授業の構築とICT機器の利用。英検講座とTOEFL Primaryの実施。</p> <p>②BYODでのSurfaceと各教室の電子黒板を活用した授業展開の研究。</p> <p>③前年度同月比で電気、ガス、水道の消費量が下回る。各部屋での紙の分別を行う。</p>	<p>①ネイティブティーチャーと日本人教員を配置した授業の構築とICT機器の効果的な利用ができた。英検講座とTOEFL Primaryも実施した。目標を明確にしていくことが課題。</p> <p>②デジタルコンテンツの活用と追小型アクティブラーニング授業におけるICT機器の活用を積極的に進めた。メディアラボ完成後の活用方法が課題。</p> <p>③各教室に再生紙の分別箱を置いて周知徹底したほか、ポスターを作成して掲示するなどして意識化に成果を挙げた。</p>

4 規律正しく安全な学校生活	<p>①礼儀礼節と規律の指導</p> <p>②マナー・安全指導と対策</p>	<p>①各学年の系統性と発達段階を踏まえた日々の指導の徹底と内面化を目指す。</p> <p>②生活指導部や道徳科を中心に、心情育成をふくめた安全指導を全教職員で推進する。PTA校外補導委員会の協力も得る。</p>	<p>①礼儀礼節の指導。朝礼での行動訓練。和洋に通じるマナー指導</p> <p>②安全指導の実施。緊急時下校訓練の実施。なかよし下校の実施。</p>	<p>①生活指導部を中心に、本校が求める成果水準を見直し、具体的な指導を行った。特に清掃や朝礼では、教員と児童が一体となって、より良い学校づくりとして取り組めた。さらに内面化を図りたい。</p> <p>②安全で礼儀正しい登下校を目的に指導。混雑を避ける工夫として、下校時刻や乗車位置の変更を行った。駅での見回り指導も繰り返し行い、安全でマナーの良い登下校の精度を高めた。さらに心情育成を図りたい。</p>
5 積極的な児童募集	<p>①教育活動の積極的発信</p> <p>②外部説明会への参加推進</p>	<p>①従来の教育活動のみならず、メディアラボの完成やそれに伴う新教育の説明などについて、説明会やコンセプトブックなどで積極的に発信する。</p> <p>②最大規模の阪急うめだ本店での関西私学展での広報活動。内部以外の幼稚園での講演を含めた広報活動の実施。内部幼稚園との連携。</p>	<p>①新しいコンセプトブックやリーフレット、ポスターや新聞広告、イメージ広告の作成。インターネットでの情報サイトの活用。</p> <p>②幼稚園などでの講演会の実施。5月、6月、7月に学校説明会を実施。内部幼稚園での出前授業の実施。</p>	<p>①入試日程の早期化やお受験情報サイトの活用を実施し、受験生が前年度比13名増など、効果が見られた。次年度は、阿倍野にも広告エリアを拡大予定。</p> <p>②関西私学展では、昨年に引き続きブース訪問者では第1位となった。阿倍野近鉄でも多数の来訪者と面談した。内部幼稚園での理科出前授業や内部以外の幼稚園・幼児教室での講演も好評である。本校の魅力を周知するとともに、他園への働きかけを進めたい。</p>